

福岡県米麦大豆生育情報

平成29年3月3日
福岡県農林業総合試験場

麦の生育概況と対策

1. 本年の気象 [太宰府アメダス]

	2月10日～2月28日 (19日間)				
	平均気温	最高気温	最低気温	日照時間	降水量
	℃	℃	℃	hr	mm
本年	6.6	11.9	1.8	101	29
前年差(比)	-0.7	-0.5	-0.7	141%	25%
平年差(比)	±0	+0.8	-0.6	125%	51%

注) 平年は1981～2010年の太宰府アメダスの平均値。

2. 麦の生育 [小麦:11月18, 22日播種、大麦:11月25日播種]

2月10日～2月28日の平均気温は平年並で、日照時間は25%多く、降水量は49%少なかった。茎立期(節間長5mm)は、小麦が2月4半旬～3月1半旬で平年並～早く、大麦は3月1半旬で平年並である。

3月1日現在の麦類の生育は、農産部では草丈は平年より6～35%長く、主稈葉数は0.5～0.7葉多く、生育は進んでいる。茎数は平年より12～18%少ない。筑後分場では草丈は平年より9～26%短く、主稈葉数は0.2～0.4葉多く、生育はやや進んでいる。茎数は平年より10～34%少ない。

3. 今後の対策

(1) 排水対策

ほ場の湿潤状態が続いており、排水対策が極めて重要である。土入れを兼ねて作溝し、地表水を排水する。排水口の整備、枕地作溝、溝さらえ等の排水対策を徹底する。

(2) 踏圧、土入れ

茎立期以降の踏圧は行わない。土入れは排水対策や倒伏防止、雑草防除の効果が高く、茎立期後10日頃までに実施する。播種期や地域による生育差が大きいため、作業は現地の生育状況を見て判断する。

(3) 雑草防除

広葉雑草を中心に発生が多いほ場があり、土入れや茎葉処理除草剤処理で防除を行う。雑草の発生状況を観察し、アクチノール乳剤等の茎葉処理除草剤を適期内に処理する。除草剤は普通作雑草防除の手引きを参照し、最新の登録情報を確認して使用する。

(4) 追肥

小麦、食料用大麦、裸麦で、2回目の追肥が終わっていないほ場では、基準量を速やかに施用する。

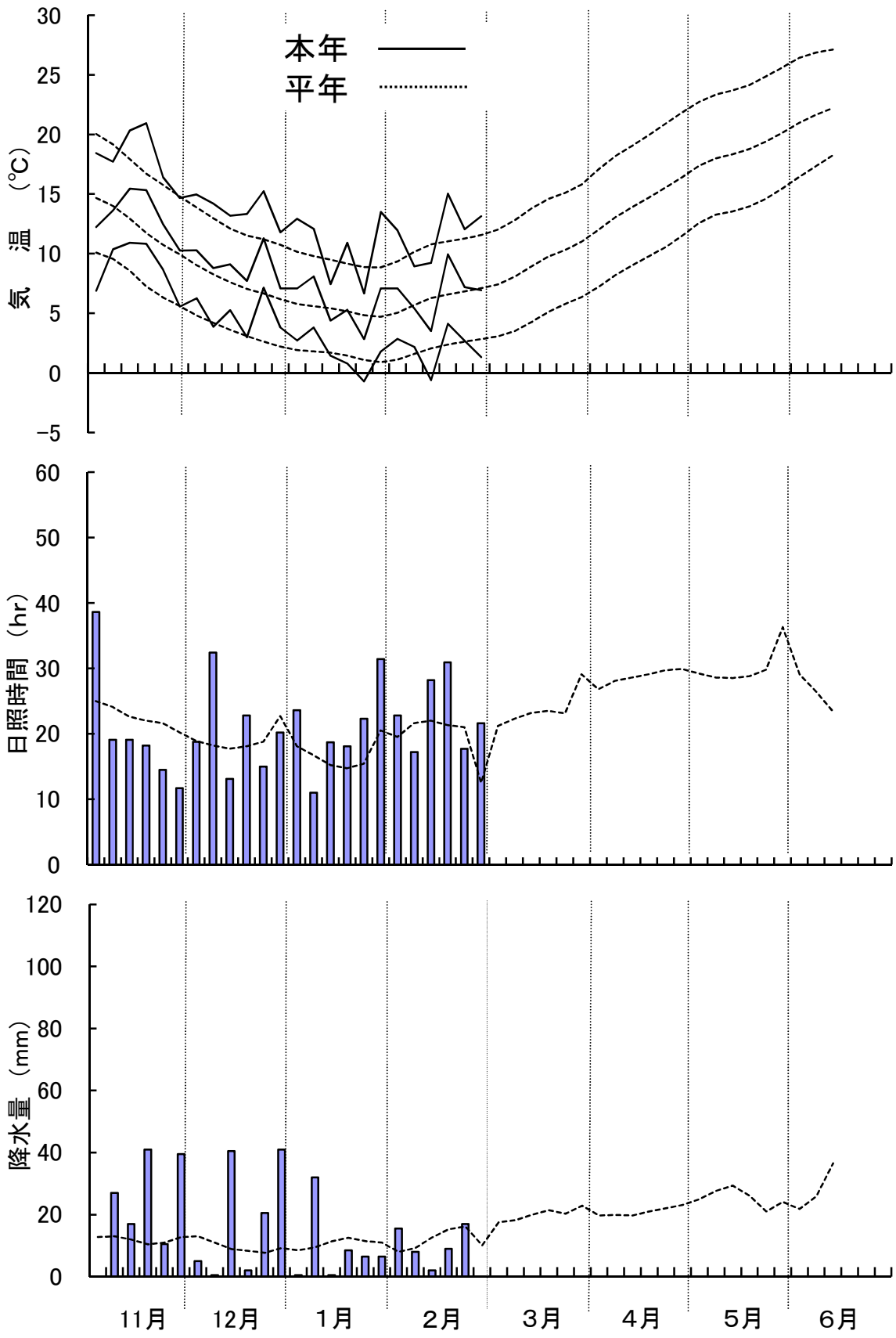
4. 農林業総合試験場における調査成績

調査場所	播種期 月.日	品種名	年次	出芽期 月.日	2月10日			3月1日			予想 茎立期 月.半旬
					草丈	茎数	葉数	草丈	茎数	葉数	
					Cm	本/m ²	L	cm	本/m ²	L	
農産部	11.18	チコ ^イ イ ^ミ	本年	11.25	22.6	620	6.2	33.6	673	7.3	2.4
			前年比(差)	-2	106	112	+0.6	110	99	+0.2	(2.5)
			平年比(差)	-4	157	96	+0.8	135	88	+0.5	-
	11.18	ラー麦 (ちくしW2号)	本年	11.25	23.7	553	6.3	33.1	590	7.3	2.4
			前年比(差)	-2	105	113	+0.5	104	103	+0.2	(2.5)
			前7年比(差)	-4	160	92	+1.0	132	87	+0.6	-
11.25	ほうしゆん	本年	12.6	12.3	901	6.3	20.5	950	7.7	3.1	
		前年比(差)	+1	90	116	+0.2	107	88	-0.1	(2.6)	
		平年比(差)	±0	119	111	+0.9	106	82	+0.7	-	
筑後分場	11.22	シカ ^ネ ム ^ギ	本年	12.2	18.4	473	5.6	26.0	696	7.4	3.1
			前年比(差)	+2	96	70	-0.7	88	96	-0.4	(2.5)
			平年比(差)	+1	109	67	±0	91	81	+0.2	-
	11.22	ラー麦 (ちくしW2号)	本年	12.3	15.1	528	5.7	22.3	666	7.4	2.5
			前年比(差)	+3	56	89	-0.4	59	111	+0.1	(2.3)
			前8年比(差)	+2	87	82	+0.2	75	90	+0.4	-
11.25	はるしずく	本年	12.8	11.9	601	5.9	17.6	877	7.4	3.1	
		前年比(差)	±0	69	64	-0.1	75	68	-0.2	(3.1)	
		前9年比(差)	-1	89	71	+0.5	74	66	+0.3	-	

注1) 平年値はH18～H27年播の平均値。

2) 前年比(差)、平年比(差)：草丈および茎数は前年比および平年比、出芽期および葉数は前年差および平年差を示す。

3) この値は暫定値で、今後変更することがある。



冬作期間の気象 (太宰府アメダス：平成28年11月～平成29年6月)